

看護研究に関する委員会活動のサポート事業

責任者：工藤 真由美 共同者：岡田 みずほ, 遠藤 良仁

令和7年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

活動の目的・意義



組織的な研究
支援体制の構築



看護実践能力と
指導スキルの向上



臨床看護師の研究指導において、
今まさに取り組んでいる課題に
沿って、大学教員とともに考え、
学び、指導力への自信を高めて
いきます！

年間勉強会プログラム (全8回)

第1回～第3回：研究の土台作り



問いの
レベル確認



PICOによる
テーマ確定



指導力を高める
実践を学びます。

第4回～第7回：調査とデータ設計



アンケート
の意義



量的データの
まとめ方



妥当性



質問紙作成を
習復します。



第8回：成果の可視化



研究成果を効果的に伝えるためのグラフとは？研究デザインから、
論文作成のスキルを学び、今年の活動を終わりました

参加者の声と 活動の成果



93%以上の
参加者が
「有意義」と回答
(平均3.74/4点満点)

“
「研修生のやる気を
引き出す導き方に
自信がついた」
”



伝わる「知」が
現場を変える

答えを教えるのではなく、
自ら気づけるような支
援方法を考えることが
できた！

グラフの表示の工夫
一つで研究成果を伝
えることができること
を学んだ！